

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年3月31日				
児童デイサービス88						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	4	・エリアが区切られている。 ・中央を空ける配置にしている。	・スペースを工夫して、広く活用できるようにしていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	・お子様の特性に合わせた専門職員を配置している。 ・利用人数によって職員の配置数を変えている。	・人員体制を強化していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	・図や表などを活用してわかりやすく掲示している。	・お子様にあった環境を作っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	3	・お子様の利用後に毎日掃除をしている。 ・整理整頓を意識している。	・普段の掃除や整理整頓で行き届いていないところは、定期清掃を行い、清潔な空間にしていきたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・半個室になれるところがある。	・個室の環境を整えていく。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2	・毎日終礼と月に一度会議を開き、業務改善に努めている。	・毎日の振り返りを継続して行い、支援方針等は定期的に会議を開き、協議していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・年に一度のアンケートを行っている。 ・送迎時等、保護者様と話をし業務改善に努めている。	・アンケートの頻度を高め、保護者様から意見を頻りに頂いていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・アンケートを元に会議を行い、業務改善に繋げている。	・改善点があった場合はすぐに対応していく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	・第三者による外部評価を行っていない。	・今後、第三者による外部評価を行える体制を整えていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・職員の経験年数や資格にあわせた研修を行っている。	・積極的に外部研修に参加していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・HPにて支援プログラムの公表を行っている。	・今以上にお子様にあったプログラムを検討していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		・都度、アセスメントシートの更新を行い計画を作成している。	・お子様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、理解しやすい児童発達支援計画を立てていく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	・全職員が共通理解できるように共有している。	・今以上に会議で話し合いをおこない、支援内容の検討したうえで、お子様の利益を考慮した支援を行っていく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	・児童発達支援計画案が出来た際に話し合い、共有して計画に沿った支援を行っている。	・児童発達支援計画の内容から支援方針が逸れてしまった場合は話し合いを行い、修正していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	・アセスメントを使用して、日々のお子様の様子を記録している。	・アセスメントを活用し、行動観察の時間を作る等、状況を細かく記載していく。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・児童発達支援ガイドラインに沿って子どもへの支援内容が誰でもわかりやすく設定されている。	・地域支援・地域連携についてももう少しわかりやすく設定していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・月初に全職員で会議を行い、活動プログラムを計画している。	・前年度と同じ活動を行わないよう考慮していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・毎回、担当を変えて固定化しないよう行っている。	・お子様の意見や保護者様の意見も取り入れてプログラムを構築していく。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		・お子様の成長に合わせて、目的をもって活動できるように計画を立てている。	・今以上に個別活動も取り入れていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・朝礼時に打ち合わせをしている。 また、役割分担などを確認しお子様にも伝わるようにホワイトボードに内容を記入している。	・当日ではなく、前日までに活動時の動きや内容の確認をしていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・終礼にて振り返りや共有事項などを記入し、記録を残すことで改善点を明確にしている。	・一週間の出来事を再度振り返り、確認していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・気づいたことや修正、改善するべき点を提案し会議で話し合っている。	・今以上に、支援の検討や改善する機会を設けていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・児童発達支援計画について、難しい文言や専門用語を分かりやすいようにかみ砕いて説明し、見直しの必要性を判断しやすくしている。	・職員間でモニタリング共有の時間を多く設けていく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・全ての職員がお子様の状況を理解できるよう徹底しているが、その中でも特に支援の構築を行える職員が参加している。	・誰でも参加ができるように会議内容を全職員に共有していく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3	・関係機関と連携しやすいように定期的に連絡を取り合っている。	・一部の関係機関と情報共有の機会が非常に少ないので、定期的に情報共有を行える体制を構築していく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		・関連の園と情報共有をしっかりと行っている。 また、会議等を開き細かく共有をしている。	・定期的に連絡を取り合い情報を常に更新していく。
		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	・保護者様と話をし、関連の園や学校と連絡を取り、支援内容等の情報共有を行っている。	・相互理解を深めるため、関連の園や学校に支援内容等を分かりやすく伝えていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	3	・児童発達支援センターとの連絡を図ってお子様の発達や集団療育への助言を受けている。	・専門家が実施する社外研修を定期的に受けられるように体制を整えていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	・地域のイベントに参加をさせてもらっている。	・保育園等の交流が時間が合わないため中々参加することができていないため、時間調整をしている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1	・保護者様より送迎や聞き取りの際にいただいた情報を職員へ共有し、共通理解を行っている。	・お子様のことを今以上に把握し、保護者様にも状況をわかりやすく伝えていく。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	・必要に応じて保護者様に情報を提供している。	・今後、体制を整えて計画していく。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約の際、内容を丁寧に伝えている。 ・変更点があった場合は都度伝えている。	・より丁寧にわかりやすく伝えていく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・契約の際に保護者様からお子様の状態や成長方針・思いなどをしっかりと確認している。	・「こどもの最善の利益」を今以上に会議で話し合っていく。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		・毎回、児童発達支援計画を説明しながら保護者様に同意を得て支援している。	・説明する際に専門用語をかみ砕いてわかりやすく伝えていく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・家族支援や送迎の際、面談の時にお悩みを汲み取っている。	・悩みを相談しやすい環境や雰囲気づくりをしていく。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7	・現状、保護者様同士やご兄弟同士の交流機会を設けることができていない。	・保護者様やご兄弟が参加できるイベントを立案し、実行に移していく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。 ・保護者様やお子様にも周知している。	・新規のお子様や保護者様にも相談や申し入れ体制について周知していく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		・HPやSNSを活用して活動内容等を発信している。	・引き続き、HPやSNSでお子様の様子や行事内容を見やすく分かりやすくしていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・個人情報の取扱いについて、社内規則を順守し取り扱いには十分に留意している。	・個人情報流出を防ぐためにセキュリティを強化していく。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・子どもや保護者様に合わせた、対応をしている。	・お子様や保護者様に合わせた対応をおこない、全職員が対応できるようにしていく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	・イベントを通して地域との交流を行っている。	・年間行事の中に地域との交流するイベントを組み込んでいく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	・契約時や更新の際、保護者様に事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を説明し周知している。 ・職員に対しても定期的に研修を行っている。	・マニュアルはわかりやすく作成する。 ・全職員が対応できるように訓練の内容を工夫していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・BCP研修を定期的に行い、訓練をしている。 ・計画に不備がないように都度更新している。	・外部研修に参加していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		・保護者様にアセスメントシートを毎年更新をして記入してもらい、お子様の状況を確認している。	・すぐに確認できるように服薬や予防接種、てんかん発作等の専用ファイルを作っていく。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・医師の指示書に基づく対応している。	・全職員が対応できるように周知していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・定期的に研修や訓練を行っている。 ・毎週、施設内の安全チェックも行っている。	・あらゆるケースを想定して研修や訓練を行っていく。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	・契約や更新時に保護者様へ周知している。	・全職員が説明できるように研修やロールプレイングを行っていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・日々の終礼を通して報告書を作成し、共有することで再発防止に向けて会議を行っている。	・他事業所で起こったヒヤリハット事例を会議で検討していく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・定期的に研修を行っている。 ・毎月アンケートを実施し、虐待防止に繋げている。	・外部研修でお子様への対応を学ぶことや職員の心身のケアを行っていく。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		・契約や更新時に説明し了承を得たうえで児童発達支援計画に記載している。	・身体拘束を十分に理解したうえで、日々の支援を行っていく。	